

広島県看護協会広島北支部会員数

保健師	35人(入会率23%)
助産師	27人(入会率34%)
看護師	1,994人(入会率52%)
准看護師	75人(入会率6%)
合計	2,131人(入会率41%)

(令和8年9月1日現在)



広島北支部だより

2026.9 vol. 48

令和8年度 広島北支部総会

日時／令和8年4月18日(土)

総会 13:30~14:15

安佐北区総合福祉センターにおいて、令和8年度広島県看護協会広島北支部総会が開催されました。会員58名、役員10名、議長2名(委任状1,461名)の参加があり、令和7年度の活動報告・決算報告ならびに令和8年度事業計画・収支予算、令和8年度役員・推薦委員候補者について承認されました。



看護研修会(総会後) 14:30~15:10 参加者 37名(役員10名含む)

総会終了後、「顔ヨガ マスクの下はちゃんと笑えて?〜笑顔力アップ〜」をテーマに研修会を行いました。認定アドバンスインストラクター MIWAKO氏を講師としてお招きし、表情筋の機能を学んだ上で、鏡を用いて表情筋のストレッチやマッサージなどを行いました。対人場面での望ましい表情について実践的に学ぶことができたことに加え、自身のストレス軽減・リラクゼーションについても振り返ることができました。



参加者の声

●私生活にも活かそう ●短時間でも濃厚な内容だった ●実践できそう

新任のご挨拶

会員の皆様には、日頃より支部の活動ならびに看護協会活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度は2年目の支部長を務めさせていただくこととなりました。会員の皆様と共に支部活動の充実と地域の看護の発展に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年の診療報酬改定では、2040年頃を見据えた地域包括ケアシステムの推進、安全・安心で質の高い医療の推進等が重視されており、看護職の役割や専門性がこれまで以上に評価される方向性が示されました。一方で医療・介護現場では人材確保や業務負担への対応など多くの課題を抱えています。あわせて看護職のウェルビーイングにも取り組み、看護の質向上と働きやすい職場環境の実現に向けて取り組んでいくことが重要です。

今年度の支部活動では、研修会や交流事業を通じて会員相互の学びと繋がりを深めてまいります。また、地域住民の皆様が安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう、地域に根差した活動を推進してまいります。



支部長 菅 太佳子

[広島医療生活協同組合 広島共立病院]

広島北支部 活動報告・ご案内

社会経済福祉研修会

日時／令和7年9月6日(土) 13:30~15:30

場所／安佐北区総合福祉センター

講師 医療法人社団八千代会 メリィホスピタル 認知症看護特定認定看護師 久保田 浩子氏
社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷 副施設長 看護連携推進部長 中本 妙氏

テーマ 「身体拘束ゼロを目指す」 参加者 40名(非会員1名、役員8名含む。)

病院と施設からそれぞれ講師をお招きし、身体拘束ゼロにかかる各施設の課題と取り組みについて講演いただきました。身体拘束をせずにケアを行うために、その原因を探るアセスメントや多職種との連携の重要性、組織として適切に理解し対応することが不必要な身体拘束を抑制することにつながることを学びました。

参加者の声

- 経験をお話で、とてもイメージがわかりました
- 看護の部会で身体拘束をすることを防ぎたい
- 多くのヒントをいただいたので、持ち帰ってチームで検討していこうと思います



広島北支部 活動報告・ご案内

▶ イベント型 まちの保健室

- ①日時：令和7年10月13日（祝）13:30～15:30 場所：安佐北区スポーツセンター 利用者：33名
②日時：令和7年11月2日（日）10:00～15:00 場所：安佐南区民まつり 利用者：35名
③日時：令和7年11月15日（土）9:30～15:30 場所：JA広島北部祭り 利用者：27名

学校に保健室があるように、地域にも気軽に健康相談ができる場所があるといいね!と始まった「まちの保健室」です。イベント型まちの保健室では、健康チェックや健康相談を合計123名が利用されました。



▶ 看護研修会

活躍する看護師たち～民間救急の現状～

日 時：令和7年11月8日（土）13:15～14:15
場 所：広島共立病院 参加者：43名（非会員7名、役員10名含む。）

講師 一般社団法人HAWK CSR ひろしまメディカル民間救急搬送サービス 理事長 高橋 透氏

民間救急搬送サービスの現状と課題、消防による救急搬送や介護タクシーとの想定利用者の違い、搬送業務における看護師の役割などについて学びました。

参加者の声

- 介護タクシーと民間救急との違いがよく分かった
- 民間救急の実際について理解できた
- 看護師の活躍の場が分かった



オーラルフレイル～歯科医師からみた在宅歯科医療の現状と医療従事者間の連携のあり方について～

日 時：令和8年1月24日（土）14:00～14:30（看護研究発表会に引き続き開催）
場 所：広島共立病院 参加者：37名（非会員1名、役員10名含む。）

講師 医療法人社団博煌会 ミモザ歯科 理事長 古本 博嗣氏

オーラルフレイルの定義や介護・死亡リスクとの関係を理解し、摂食嚥下障害への対応や口腔リハビリなど、看護師が日常的に実践できる具体的な予防方法やケアについて学びました。

参加者の声

- 嚥下体操など職域連携のメッセージが伝わった
- 義歯と転倒が大きく関わっているとは知らなかった
- オーラルフレイル予防について理解できた
- 歯をもっと大切にしたい



▶ 会員交流会

日 時：令和7年12月20日（土）13:30～15:00 参加者：35名（役員8名含む。）
場 所：安佐北区総合福祉センター

講師 ヨーロピアンフラワーデザイン連盟 日本切花協会 花ソムリエ 釘屋 洋子氏

毎年好評をいただいております恒例となった研修です。講師のアドバイスを受けながら、思いのイメージでアレンジした作品を仕上げていきました。いろいろなお花に触れ、参加者の交流が深まる楽しい研修でした。

参加者の声

- とても良い気分転換になり時間を忘れて取り組みました
- いろいろな方とコミュニケーションがとれて楽しむことができました
- この研修を毎年楽しみにしています
- 初めて参加しましたが楽しかったです



▶ 看護研究発表会

【講師】 安田女子大学 看護学部 准教授 中吉 陽子氏

日 時：令和8年1月24日（土）13：00～14：45

場 所：安佐北区総合福祉センター

参加者：38名（非会員1名、役員10名含む。）

演題

● 拘縮部位に手動式圧入調整装置を再利用した結果

〔メディカルパーク 野村病院〕

● 情報共有の効率化に向けた申し送り短縮の継続的な取り組み

〔安芸太田病院〕

● グループディスカッションによる看護師の退院支援実践能力の変化

～退院支援自己評価尺度(Discharge Planning of Ward Nurse：DPWN)を活用して～ 〔広島市立北部医療センター安佐市民病院〕

看護研究サポート演題2題、一般演題1題の発表がありました。質疑応答の後、サポートいただいた指導員から研究の考え方を含め、とても分かりやすい講評をいただきました。

募集

令和8年度の一般演題を発表していただける施設を募集しています。日頃の取り組みを発表してませんか。関心のある方は、まずは施設代表者へご相談ください。



▶ 救急蘇生（初級コース）研修会

【講師】 1回目：広島市立北部医療センター安佐市民病院 クリティカルケア認定看護師 長見 由美氏
2回目：広島市立北部医療センター安佐市民病院 クリティカルケア認定看護師 平尾 尚也氏
インストラクター 計8名

日 時：（1回目）令和8年6月 6日（土）13：00～16：00

（2回目）令和8年6月20日（土）13：00～16：00

場 所：広島市立北部医療センター安佐市民病院

会員・非会員を含め2日間で合計38名の参加がありました。4～5名のグループに分かれ演習や意見交換を行い学びが深まりました。広島北支部の研修会では、現場でなかなか経験する機会がない気管内挿管介助の体験ができることが特徴です。

参加者の声

● 挿管の介助を行うことがないので、練習ができて良かった
● 実技があり、何度も練習ができて良かった

● 様々な想定で実践できて、とても良かった
● 急変時の対応を改めて考える良いきっかけになった



ご案内

看護研究サポート

【講師】 安田女子大学 看護学部 准教授 木佐貫 尚美氏

今年は、JA吉田総合病院が受講しています。6月19日（金）に講義「看護研究の基礎、展開、方向性について」を受講しました。今後、9月、12月にそれぞれサポートを受け、令和9年1月23日（土）に開催する研究発表会に向けて取り組んでいきます。

広島北支部

施設紹介コーナー

安佐医師会病院

広島市安佐北区の旧安佐市民病院の北館を改築し、2023年4月に安佐医師会の運営のもと安佐医師会病院として開院しました。同じ建物の中には、広島市北部在宅医療・看護連携支援センター、安佐准看護学院、可部夜間急病センターが入っています。



安佐医師会病院は、地域包括ケア病棟82床と緩和ケア病棟20床からなる102床の病院です。総合内科・緩和ケア内科・リハビリテーション科を中心に、地域の皆さまの「これからの生活」を支える医療と看護を提供しています。

当院の理念は「地域の急性期病院と在宅医療・介護・生活とをつなぐ地域包括ケアシステムの中核を担う病院を目指します」。そしてモットーは「おうちに帰ろう」。この言葉には、患者さんが住み慣れた場所で、その人らしい暮らしを続けられるよう支えたいという思いが込められています。

地域包括ケア病棟では、急性期治療を終えた患者さんが自宅や施設へ安心して戻れるよう、医療・リハビリ・生活支援を組み合わせ

たケアを行っています。看護部では、患者さんやご家族の不安に寄り添いながら、退院後の生活を一緒にイメージし、必要な支援につなげることを大切にしています。「支える人を支える」という視点から、介護疲れや心身の負担を抱えるご家族のためのレスパイト入院も積極的に受け入れています。

緩和ケア病棟では、患者さんが「自分らしい時間」を過ごせるよう、痛みや苦痛の緩和だけでなく、心のケアにも力を入れています。面会時間に制限はなく、ご家族にはいつでもお越しいただき、穏やかな時間を過ごせる環境づくりを心がけています。



多職種連携は当院の強みであり、医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーが入院前のカンファレンスから協力し、患者さんの生活に寄り添った支援を行っています。また、栄養サポート、口腔・皮膚ケアの専門職が院内にいないため、地域の医師や認定看護師と連携し、指導や支援を受けながら生活の質向上に向けた取り組みを進めています。

患者さんの「おうちに帰ろう」という願いを支えられるよう、地域の医療・介護・在宅支援の皆さまと連携を深め、地域に貢献できる看護実践を行ってまいります。



令和8年度 新役員紹介

／ よろしくお願ひします！ ／

支部長	菅 太佳子	広島医療生活協同組合 広島共立病院
副支部長	近森さつき (新)	社会医療法人広島ハートセンター 広島心臓血管病院
副支部長	迫井 恵美	医療法人社団八千代会 八千代病院介護医療院
幹事(総務)	甲 早苗	広島医療生活協同組合 広島共立病院
幹事(財務)	小出 和美	医療法人あかね会 大町土谷クリニック
幹事(教育)	小林 明美 (新)	広島市立北部医療センター 安佐市民病院
幹事(教育)	西田 陵子	医療法人信愛会 日比野病院
幹事(教育)	水村めぐみ	医療法人メディカルパーク 野村病院
幹事(社経)	西本 清二	医療法人社団仁和会 児玉病院
幹事(教育)	三上 知文 (新)	広島市安佐南保健センター
理事	奥田 加世	広島市立リハビリテーション病院
事務	徳富 綾乃 (新)	広島北支部事務所



退任された方々 ありがとうございます

副支部長	村岡 智恵	Community Health Care ichijiku
幹事(教育)	上田 淳子	広島市立北部医療センター 安佐市民病院
幹事(教育)	岩井 浩子	広島市安佐北保健センター
事務	末田 みさえ	広島北支部事務所



今後の行事予定 詳しくは後日お送りする案内をご覧ください。

●組織強化研修会

／令和8年11月14日(土) 予定

テーマ「活躍する看護師たち～多職種・地域連携のキーパーソン、訪問看護×糖尿病看護の現場から～」

●会員交流会「フラワーアレンジメント」

／令和8年12月19日(土) 予定

●看護研究発表会

／令和9年1月23日(土) 13:00 ～ 14:00



[発行日] 令和8年9月30日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 広島北支部事務所
〒731-0223 広島市安佐北区可部南5-14-20-205
TEL/FAX:082-814-4543
E-mail: s-kita@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 菅 太佳子